

# ANAホールディングス株式会社 説明会

2022年3月期 第1四半期決算

2021年7月30日

代表取締役社長

片野坂 真哉



## 目次

## 1. 2021年度 第1四半期決算

決算概要	P. 4
航空事業・事業別の動向（コロナ前との対比）	P. 5
第1四半期の実績（分析）	P. 6
外部環境と需要の見通し	P. 7
黒字化の達成に向けた追加の対応策	P. 8

## 2. 2021年度 第1四半期決算（詳細）

業績ハイライト	P. 10
連結決算概要	
経営成績	P. 11
財政状態	P. 12
キャッシュフロー	P. 13-14
セグメント別実績	P. 15
航空事業	
収入・費用	P. 17
営業利益 増減要因	P. 18
ANA国際旅客	P. 19
ANA国内旅客	P. 20
ANA国際貨物	P. 21-22
ANA国内貨物	P. 23
LCC	P. 24
コロナ前との対比	P. 25
ノンエア事業	
航空事業以外のセグメント	P. 27
補足資料	
航空機数	P. 28

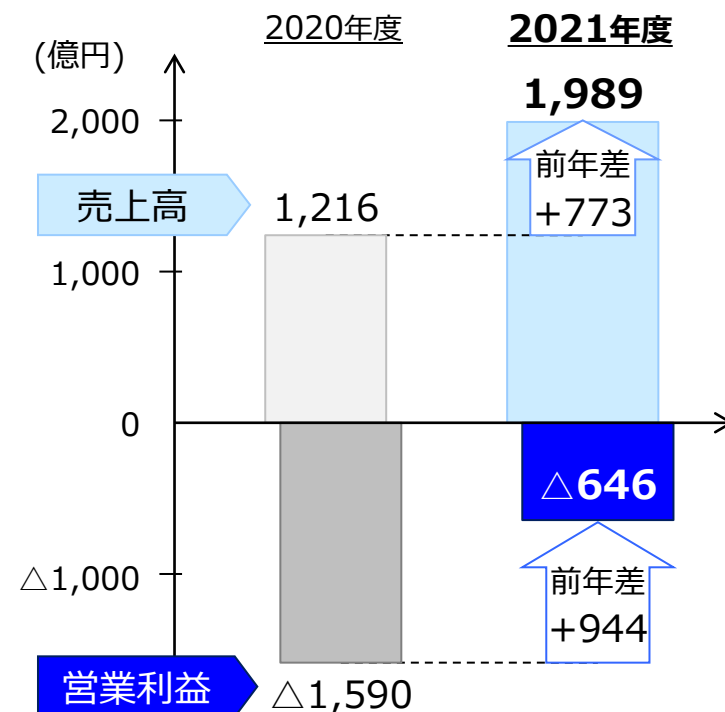
# 1. 2021年度 第1四半期決算



## 決算概要

## 2021年度 第1四半期決算（連結）

(億円)	実績	前年差	前年比
売上高	<b>1,989</b>	+773	+63.6%
航空事業	1,701	+748	+78.5%
営業費用	<b>2,635</b>	△171	△6.1%
航空事業	2,377	△113	△4.6%
営業利益	△ <b>646</b>	+944	-
航空事業	△676	+861	-
経常利益	△ <b>637</b>	+927	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ <b>511</b>	+576	-
EBITDA	△ <b>250</b>	+889	-

売上高・営業利益の前年比較  
(第1四半期・連結)

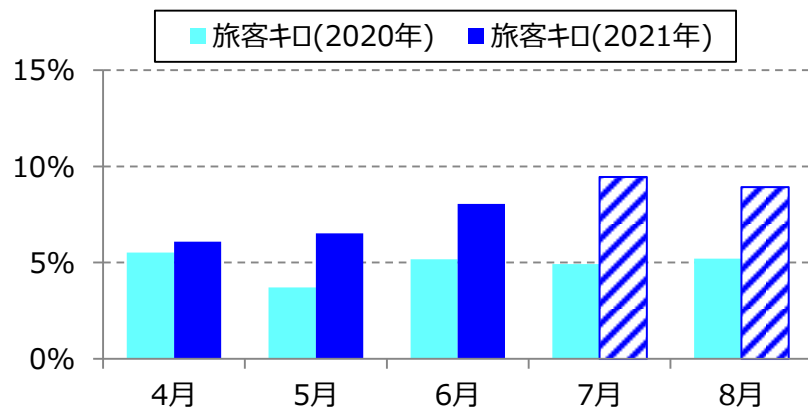
- |        |  |
|--------|--|
| 1. 前年比 | 1) 国内で「緊急事態宣言」による影響が続いた中でも、売上高は前年から増加<br>2) 「事業構造改革」の推進による費用削減効果により、営業損失を着実に改善 |
| 2. 計画比 | 1) 貨物の増収とコスト削減の深掘りにより、営業損失を計画水準から大幅に圧縮   |

## 航空事業・事業別の動向（コロナ前との対比）

グラフは全てコロナ前の実績(2019年4~8月)との対比、2021年7~8月は現時点の見通し

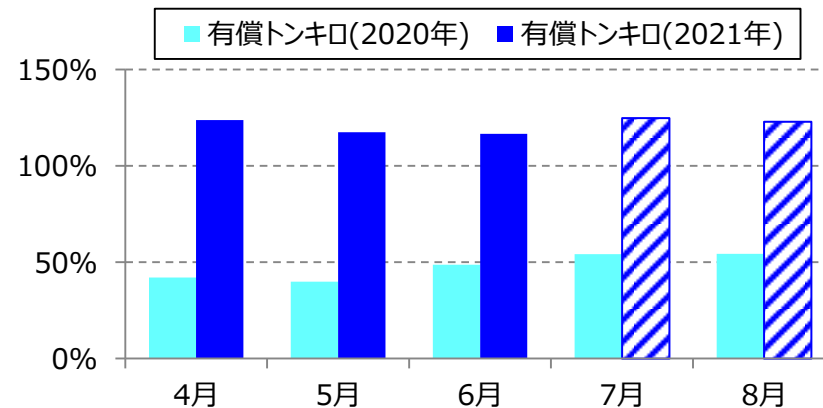
## 1. ANA国際旅客

貨物収入も考慮しながら、三国間需要などを取り込み



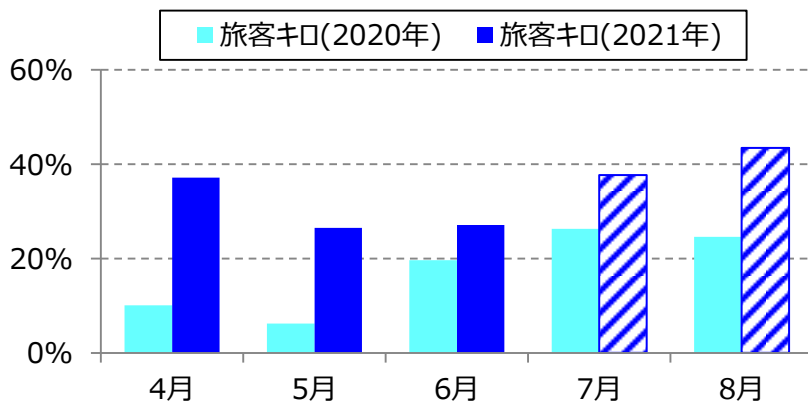
## 3. ANA国際貨物

フレイターを戦略的に活用、コロナ前を上回る実績が継続



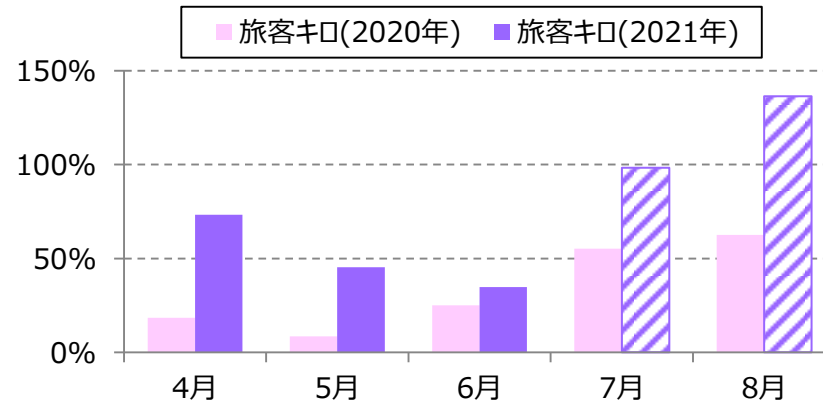
## 2. ANA国内旅客

需要は6月上旬に底打ちして、回復・増加へ



## 4. Peach国内線

新たに就航した路線を含めて、レジャー・VFR\*1を取り込み



\*1 Visit Friends & Relatives

\*2 収益認識に関する会計基準の適用により、2021年度の実績・見通しには特典航空券の利用旅客を含む

## 第1四半期の実績（分析）

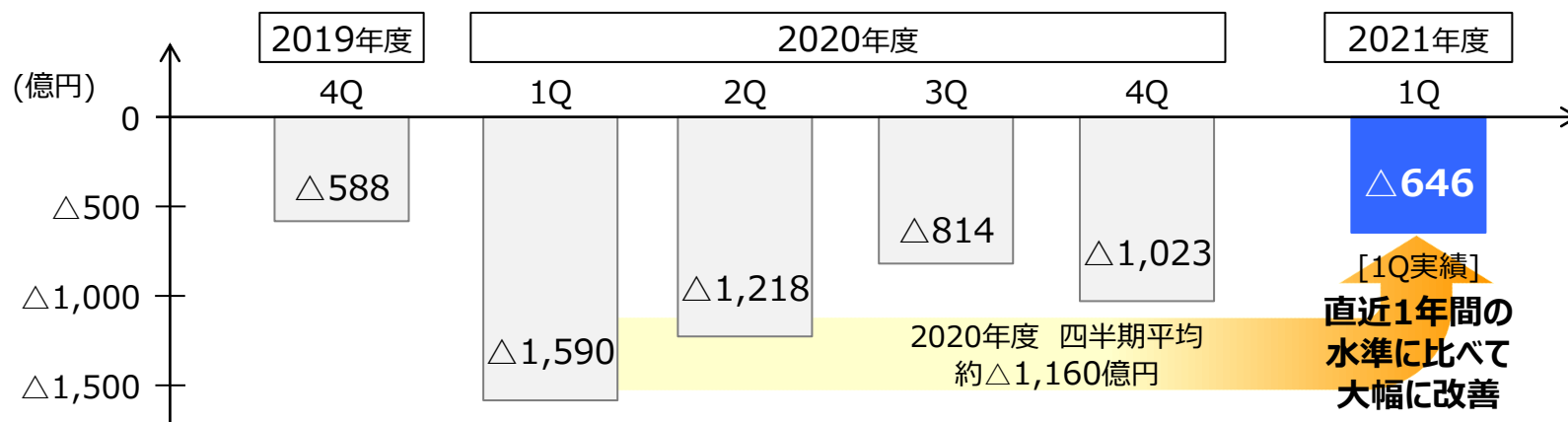
## 1. コスト削減額

	1Q実績 *1	主な項目
変動費	1,025億円	1) 需要動向に応じた生産量の調整 2) 公租公課等の減免（空港使用料・航空機燃料税）
固定費*2	630億円	3) 保有機材数の削減による効果（減価償却費・整備費） 4) 賃金と雇用に関する施策の深掘り（人件費） 5) オペレーションコストの削減（外部委託費・整備費等） 6) 調達コスト改革・施設関連 7) 緊急コスト対策の継続・深掘り
合計	1,655億円	

\*1 2019年度 第1四半期実績との比較

\*2 雇用調整助成金の受給額を含む

## 2. 営業利益の推移（連結ベース）



## 外部環境と需要の見通し

## 1. 外部環境

第1四半期 (実績)

第2四半期 (見通し)

コロナ感染拡大の懸念

「緊急事態宣言」  
4/25~6/20 (57日間)「緊急事態宣言」  
7/12~8/22 (42日間予定)

ワクチン接種

ワクチン接種の対象者が拡大

東京2020大会

各国の渡航規制・日本の入国者数制限

段階的な緩和

接種証明書の普及

国内の状況

海外の渡航

## 2. 需要の見通し

国内旅客

ANA peach

旅客需要は計画から下振れ

新たな予約が堅調に増加

6月中旬以降、主にレジャー需要が回復

国際旅客

ANA

旅客需要の低迷が継続

需要回復の兆候

三国間需要、長期滞在者など

国際貨物

ANA

堅調な業況が継続

- 1) 需要：主力商材が好調に推移（①半導体・電子部品、②自動車関連、③医薬品・医療機器）
- 2) 供給：需給バランスの逼迫が継続（①旅客便の運休・減便、②海上輸送のコンテナ不足）

## 黒字化の達成に向けた追加の対応策

### 1. 国内線

#### 1) 柔軟な生産量調整の継続

① 需要低迷：運休・減便の深掘り



② 需要回復：提供座席数の機動的な拡大

#### 2) グループ内の連携強化 8月下旬リリース予定

① 冬ダイヤから運航便の移管を加速（ANA→Peach）

- 1. コストマネジメントの徹底とトップラインの向上を同時に追求
- 2. グループ全体で最適なネットワーク構築を開始

### 2. 国際線

#### 1) 旅客便の一部で発着空港を変更（羽田→成田）

① アジア＝北米間の接続需要をターゲット

#### 2) 旺盛な貨物需要の取り込みを強化

① 旅客機を活用した貨物専用便の運航

② フレイター就航都市の拡大と稼働率の向上

- 1. 便あたり収入の最大化（旅客便・貨物便）
- 2. 生産量・ネットワークの更なる拡大（貨物便）

### 3. その他

#### 1) 各種の販促活動を実施

#### 2) グループ外出向の継続・拡大、従業員との「対話」

- 1. 航空事業における増収、非航空収入の拡大
- 2. 総額人件費の更なる抑制

**柔軟かつ機動的に、あらゆる対策を実行  
通期の最終利益で黒字転換を目指す**



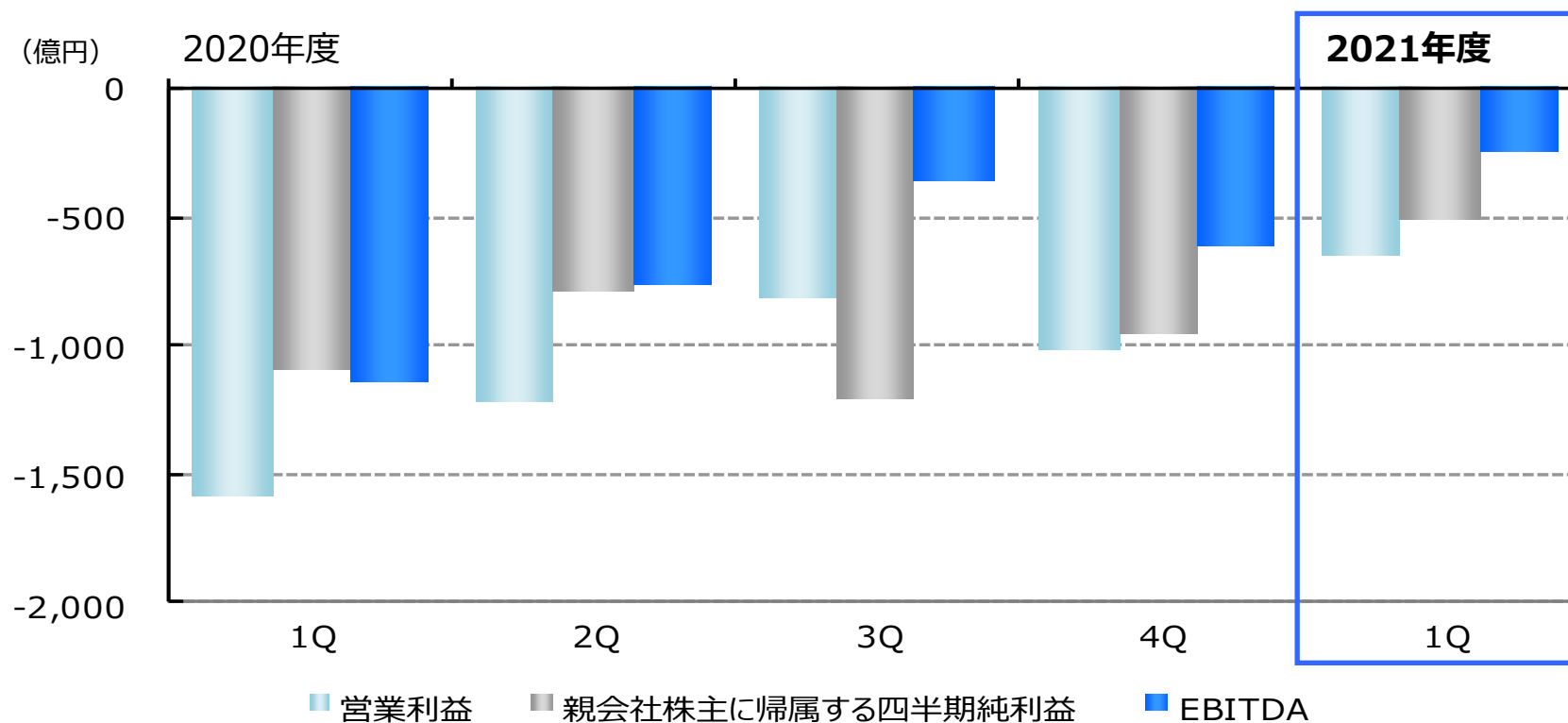
## 2. 2021年度第1四半期 決算（詳細）



## 当年度と前年度各四半期の業績比較

## 【2021年度 第1四半期 (連結)】

- 営業利益 : △ 646億円 (前年同期比 + 944億円)
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : △ 511億円 ( 同 + 576億円)
- EBITDA : △ 250億円 ( 同 + 889億円)



## 経営成績

(億円)	FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年差
売上高	1,216	1,989	+ 773
営業費用	2,806	2,635	△ 171
営業利益	△ 1,590	△ 646	+ 944
営業利益率 (%)	-	-	-
営業外損益	25	8	△ 16
経常利益	△ 1,565	△ 637	+ 927
特別損益	3	-	△ 3
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 1,088	△ 511	+ 576
四半期純利益	△ 1,104	△ 504	+ 599
その他包括利益	165	24	△ 140
包括利益	△ 938	△ 479	+ 458

## 財政状態

(億円)	FY2020 期末 *4	FY2021 第1四半期末	前年度 期末差 *5
総資産	32,078 (32,452)	31,669	△ 409 (△ 783)
自己資本	10,072 (8,925)	8,438	△ 1,634 (△ 487)
自己資本比率(%)	31.4 (27.5)	26.6	△ 4.8pt (△ 0.9pt)
有利子負債残高	16,554	16,548	△ 6
D/Eレシオ (倍)	1.6 (1.9)	2.0	+ 0.3 (+ 0.1)
手元流動性資金 *1	9,657	9,062	△ 594
純有利子負債残高 *2	6,897	7,485	+ 588
ネットD/Eレシオ (倍) *3	0.7 (0.8)	0.9	+ 0.2 (+ 0.1)

\*1 手元流動性資金 = 現金及び預金 + 有価証券

\*2 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - 手元流動性

\*3 ネットD/Eレシオ = 純有利子負債 ÷ 自己資本

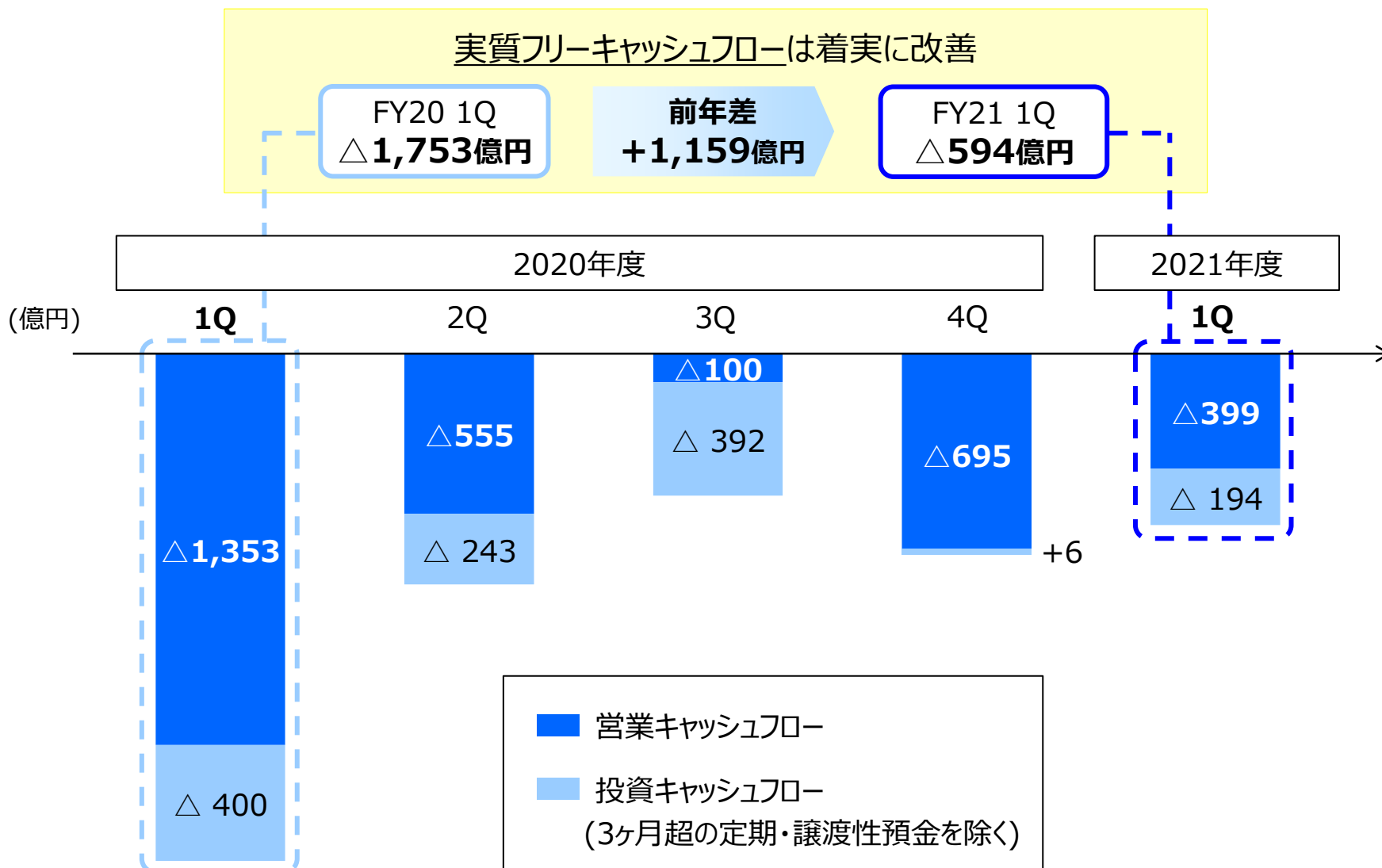
\*4 カッコ内は収益認識基準を適用後のFY2021期首数値

\*5 カッコ内は収益認識基準を適用後のFY2021期首数値との差

## キャッシュフロー

(億円)	FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年差
営業キャッシュフロー	△ 1,353	△ 399	+ 953
投資キャッシュフロー	276	2,985	+ 2,709
財務キャッシュフロー	5,137	△ 3	△ 5,141
現金及び現金同等物の増減額	4,061	2,584	△ 1,476
現金及び現金同等物の期首残高	1,359	3,703	} + 2,584
現金及び現金同等物の期末残高	5,418	6,287	
減価償却費	450	395	△ 54
設備投資額（固定資産のみ）	388	290	△ 98
実質フリーキャッシュフロー （3ヶ月超の定期・譲渡性預金を除く）	△ 1,753	△ 594	+ 1,159
EBITDA（営業利益＋減価償却費）	△ 1,140	△ 250	+ 889
EBITDAマージン（%）	-	-	-

## 【参考】実質フリーキャッシュフローの推移



## セグメント別実績

(億円)		FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年差
売上高	航空事業	953	1,701	+ 748
	航空関連事業	598	533	△ 65
	旅行事業	31	91	+ 60
	商社事業	197	191	△ 5
	その他	92	85	△ 6
	調整額	△ 656	△ 614	+ 42
	合計 (連結)	1,216	1,989	+ 773
営業利益	航空事業	△ 1,537	△ 676	+ 861
	航空関連事業	8	51	+ 43
	旅行事業	△ 27	△ 1	+ 25
	商社事業	△ 13	△ 1	+ 12
	その他	6	3	△ 2
	調整額	△ 26	△ 21	+ 4
	合計 (連結)	△ 1,590	△ 646	+ 944

Intentionally Left Blank

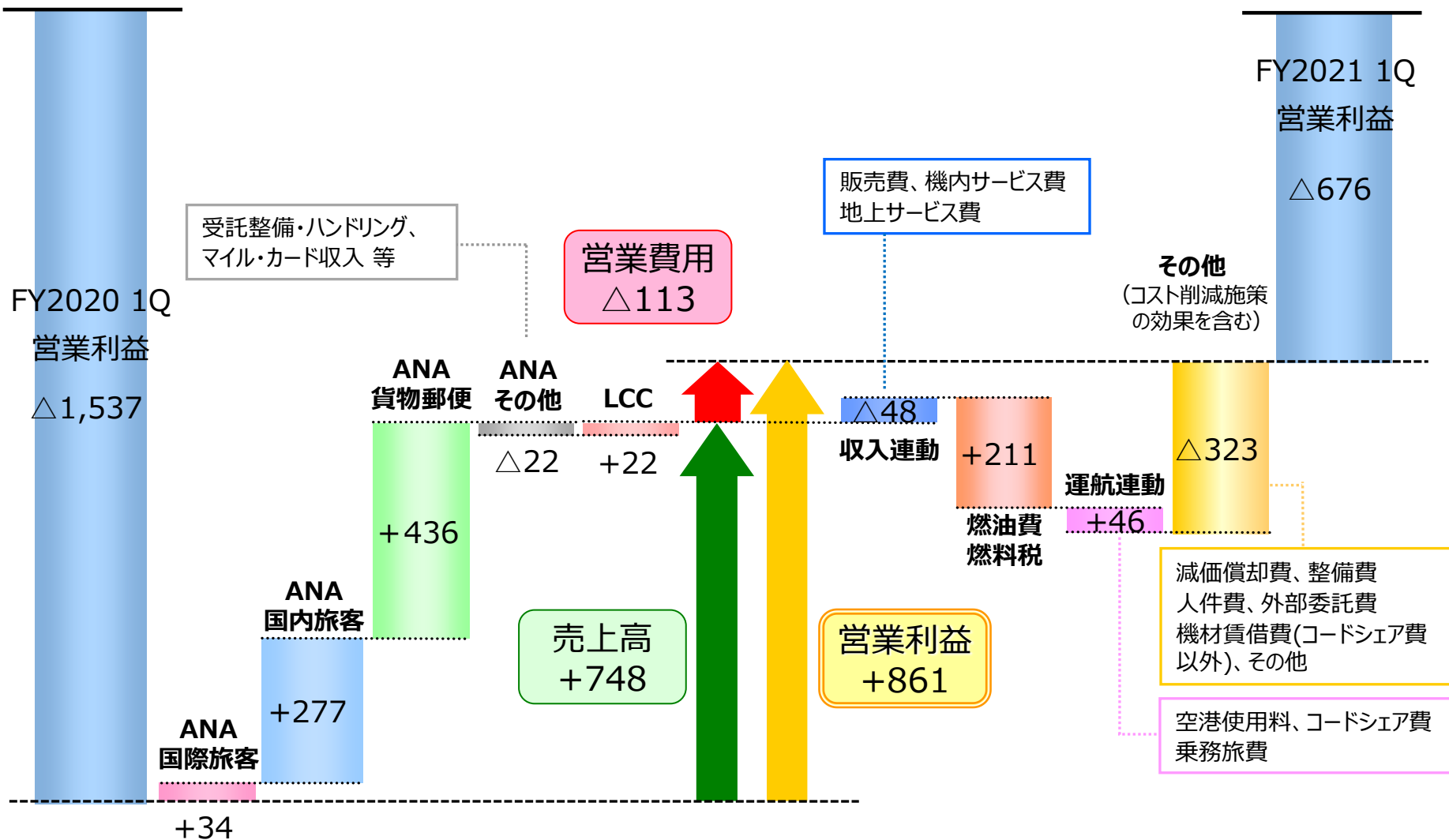


## 収入・費用

(億円)		FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年差
売上高	ANA 国際旅客	95	129	+ 34
	ANA 国内旅客	224	502	+ 277
	ANA 貨物郵便	299	735	+ 436
	ANA その他	316	293	△ 22
	LCC	17	39	+ 22
	合計	953	1,701	+ 748
営業費用	燃油費・燃料税	153	365	+ 211
	空港使用料	73	90	+ 16
	航空機材賃借費	258	267	+ 9
	減価償却費	432	353	△ 79
	整備部品・外注費	279	190	△ 88
	人件費	423	377	△ 45
	販売費	100	57	△ 42
	外部委託費	474	454	△ 19
	その他	295	220	△ 75
	合計	2,490	2,377	△ 113
営業利益	△ 1,537	△ 676	+ 861	
EBITDA (営業利益+減価償却費)	△ 1,105	△ 322	+ 782	
EBITDAマージン (%)	-	-	-	

## 営業利益 増減要因

(億円)



## ANA国際旅客

	FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年比(%)
座席キロ (百万)	2,365	4,514	+ 90.8
旅客キロ (百万) *1	619	892	+ 43.9
旅客数 (千人) *1	91	131	+ 43.4
座席利用率 (%) *1	26.2	19.8	△ 6.4pt*2
旅客収入 (億円) *1	95	129	+ 36.5
ユニットレベニュー (円) *1 (旅客収入/座席キロ)	4.0	2.9	△ 28.5
イールド (円) *1 (旅客収入/旅客キロ)	15.3	14.5	△ 5.2
単価 (円) *1 (旅客収入/旅客数)	103,795	98,752	△ 4.9

\*1 収益認識に関する会計基準の適用により、2021年度実績は特典航空券利用旅客を含む

\*2 座席利用率のみ前年差

## ANA国内旅客

	FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年比(%)
座席キロ (百万)	3,939	6,980	+ 77.2
旅客キロ (百万) *1	1,176	2,981	+ 153.5
旅客数 (千人) *1	1,278	3,200	+ 150.3
座席利用率 (%) *1	29.9	42.7	+ 12.9pt*2
旅客収入 (億円) *1	224	502	+ 123.5
ユニットレベニュー (円) *1 (旅客収入/座席キロ)	5.7	7.2	+ 26.2
イールド (円) *1 (旅客収入/旅客キロ)	19.1	16.8	△ 11.8
単価 (円) *1 (旅客収入/旅客数)	17,565	15,686	△ 10.7

\*1 収益認識に関する会計基準の適用により、2021年度実績は特典航空券利用旅客を含む

\*2 座席利用率のみ前年差

## ANA国際貨物（ベリー+フレイター）

	FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	689	1,652	+ 139.5
有償貨物トンキロ（百万）	451	1,233	+ 173.2
貨物輸送重量（千トン）	98	233	+ 135.6
貨物重量利用率（%）	65.5	74.7	+ 9.2pt*1
貨物収入（億円）	254	660	+ 159.5
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	36.9	40.0	+ 8.3
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	56.3	53.5	△ 5.0
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	257	283	+ 10.1

\*1 貨物重量利用率のみ前年差

## ANA国際貨物（フレイターのみ）

本表のデータは、P.21記載実績の内数

	FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	350	569	+ 62.3
有償貨物トンキロ（百万）	225	393	+ 74.3
貨物輸送重量（千トン）	56	99	+ 74.8
貨物重量利用率（%）	64.4	69.2	+ 4.8pt*1
貨物収入（億円）	126	235	+ 86.2
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	36.1	41.4	+ 14.7
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	56.0	59.8	+ 6.8
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	223	237	+ 6.5

\*1 貨物重量利用率のみ前年差

## ANA国内貨物

	FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ (百万)	94	196	+ 107.8
有償貨物トンキロ (百万)	39	65	+ 64.0
貨物輸送重量 (千トン)	35	56	+ 60.9
貨物重量利用率 (%)	42.3	33.4	△ 8.9pt*1
貨物収入 (億円)	36	59	+ 64.3
ユニットレベニュー (円) (貨物収入/有効貨物トンキロ)	38.1	30.1	△ 20.9
イールド (円) (貨物収入/有償貨物トンキロ)	90.1	90.2	+ 0.2
重量単価 (円/kg) (貨物収入/貨物輸送重量)	102	104	+ 2.1

\*1 貨物重量利用率のみ前年差

## LCC (Peach Aviation)

	FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年比(%)
座席キロ (百万)	559	1,240	+ 121.7
旅客キロ (百万)	197	580	+ 193.8
旅客数 (千人)	173	498	+ 186.5
座席利用率 (%)	35.3	46.8	+ 11.5pt*1
売上高 (億円) *2	17	39	+ 128.5
ユニットレベニュー (円) (売上高/座席キロ)	3.1	3.2	+ 3.1
イールド (円) (売上高/旅客キロ)	8.8	6.9	△ 22.2
単価 (円) (売上高/旅客数)	10,013	7,986	△ 20.2

\*1 座席利用率のみ前年差

\*2 売上高に付帯収入を含む



## 航空事業 コロナ前との対比

## FY2021 第1四半期実績

2019年度比(%)*1	ANA国際旅客	ANA国内旅客	LCC *2
座席キ〇	△ 73.7	△ 52.8	△ 56.8
旅客キ〇 *3	△ 93.1	△ 69.9	△ 76.4
旅客数 *3	△ 94.8	△ 70.5	△ 74.3

2019年度比(%)*1	ANA国際貨物	ANA国内貨物
有効貨物トンキ〇	△ 7.9	△ 54.2
有償貨物トンキ〇	+ 19.3	△ 29.9
貨物輸送重量	+ 9.2	△ 36.2

\*1 コロナ前(2019年4月～6月実績)との比較

\*2 2019年度実績はPeach Aviationとバニラエアの合計

\*3 収益認識に関する会計基準の適用により、2021年度実績は特典航空券利用旅客を含む

Intentionally Left Blank

## 航空事業以外のセグメント

(億円)	航空関連事業			旅行事業		
	FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年差	FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年差
売上高	598	533	△ 65	31	91	+ 60
営業利益	8	51	+ 43	△ 27	△ 1	+ 25
減価償却費	12	12	△ 0	1	0	△ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	20	63	+ 42	△ 25	△ 1	+ 24
EBITDAマージン(%)	3.5	11.9	+ 8.5pt	—	—	—

	商社事業			その他		
	FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年差	FY2020 第1四半期	FY2021 第1四半期	前年差
売上高	197	191	△ 5	92	85	△ 6
営業利益	△ 13	△ 1	+ 12	6	3	△ 2
減価償却費	3	3	△ 0	0	1	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	△ 10	1	+ 12	7	4	△ 2
EBITDAマージン(%)	—	1.0	—	7.7	5.6	△ 2.0pt

## 航空機数

	合計					退役済み機材*1 を除く		
	FY2020 期末	FY2021 第1四半期末	前年度 期末差	保有機数	リース機数	FY2020 期末	FY2021 第1四半期末	前年度 期末差
Airbus A380-800	2	2	-	2	-	2	2	-
Boeing 777-300/-300ER	30	25	△ 5	16	9	20	20	-
Boeing 777-200/-200ER	14	14	-	10	4	12	12	-
Boeing 777-F	2	2	-	2	-	2	2	-
Boeing 787-10	2	2	-	2	-	2	2	-
Boeing 787-9	36	37	+ 1	31	6	36	37	+ 1
Boeing 787-8	36	36	-	31	5	36	36	-
Boeing 767-300/-300ER	21	20	△ 1	20	-	20	20	-
Boeing 767-300F/-300BCF	9	9	-	6	3	9	9	-
Airbus A321-200neo	17	17	-	-	17	17	17	-
Airbus A321-200	4	4	-	-	4	4	4	-
Airbus A320-200neo	11	11	-	11	-	11	11	-
Airbus A320-200	3	3	-	-	3	3	0	△ 3
Boeing 737-800	39	39	-	24	15	39	39	-
Boeing 737-700	5	2	△ 3	2	-	4	0	△ 4
De Havilland Canada DASH 8-400	24	24	-	24	-	24	24	-
<b>ANA 計</b>	<b>255</b>	<b>247</b>	<b>△ 8</b>	<b>181</b>	<b>66</b>	<b>241</b>	<b>235</b>	<b>△ 6</b>
Airbus A320-200neo	3	4	+ 1	-	4	3	4	+ 1
Airbus A320-200	35	33	△ 2	-	33	30	30	-
<b>Peach Aviation 計</b>	<b>38</b>	<b>37</b>	<b>△ 1</b>	<b>-</b>	<b>37</b>	<b>33</b>	<b>34</b>	<b>+ 1</b>
<b>グループ 計</b>	<b>293</b>	<b>284</b>	<b>△ 9</b>	<b>181</b>	<b>103</b>	<b>274</b>	<b>269</b>	<b>△ 5</b>

\*1 退役済み・売却待ちまたはリース返却待ちの機材

(Memo)

(Memo)

## グループ経営理念

安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します

## グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である  
私たちはお互いの理解と信頼のもと確かなしくみで安全を高めていきます  
私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により安全を追求します

## グループ経営ビジョン

ANAグループは、お客様満足と価値創造で  
世界のリーディングエアライングループを目指します

グループ行動指針  
(ANA's Way)

私たちは「あんしん、あったか、あかるく元気！」に、次のように行動します。

1. 安全 (Safety)  
安全こそ経営の基盤、守り続けます。
2. お客様視点 (Customer Orientation)  
常にお客様の視点に立って、最高の価値を生み出します。
3. 社会への責任 (Social Responsibility)  
誠実かつ公正に、より良い社会に貢献します。
4. チームスピリット (Team Spirit)  
多様性を活かし、真摯に議論し一致して行動します。
5. 努力と挑戦 (Endeavor)  
グローバルな視野を持って、ひたむきに努力し枠を超えて挑戦します。

## 免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、感染症の継続・拡大、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

株主・投資家情報 → I R 資料室 → 決算説明会資料

ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・I R部

Eメール : [ir@anahd.co.jp](mailto:ir@anahd.co.jp)